

強い思いで！



「大漁」

金子 みすゞ

朝焼小焼だ
大漁だ
大羽鱈の
大漁だ。

浜は祭りの
ようだけど
海のなかでは
何万の
鱈のとむらい
するだろう。

皆さん、この詩、どこかで一度は見られたり聞かれたりしたことがある詩ではないでしょうか。昭和の初め、わずか26歳という若さで生涯を閉じた、金子みすゞさんの代表作です。没後、100年ほど経っている今もなお、人々の心を揺さぶって止まないのはどうしてなのでしょう。私たち「人」にとって、決して忘れてはならない

「生きとし生けるものへの労り、他を思う心」に気づかせてくれるからではないでしょうか。

さて、本校では、12月13日（金）、「人権集会」を実施しました。

目的は、「一人ひとりが人権について考え、違いを認め合いながら、幸せな気持ちで生活できるように人権意識を高める」です。内容は、

- ① 担当からの人権にまつわる話
- ② 人権に関わる絵本の朗読
- ③ 各学年グループの合唱
- ④ 全校合唱「せんだんのように」

など…。

人権教育担当からの語りかけの要旨は、次のような内容でした。

人権とは、「誰でもニコニコ胸をはって生きていくために大切なもの」ということです。そのためには、「みんなが一人ひとりを大切にしていくな必要があります。人権について、特に大切にしたい3つのこととお話しします。

- ・「一人一人の命を大切にすること」
- ・「一人一人の心を大切にすること」
- ・「一人一人の考えを大切にすること」

人権は、命、心、考えが大切にされることによって守られます。（中略）ちくちく言葉やちくちくアクションではなく、ぽかぽか言葉やぽかぽかアクションが溢れる教室、学校にしていきたいましよう…。

また、私からは、金子みすゞさんの「大漁」という詩を紹介し、どんな意味が隠されているのか考えてみましょうと投げかけました。

みすゞさんの、他者を慮るその感性が、西部小の子どもたちに、少しずつ広がっていけばと改めて心に刻んだ一日でした。



御礼【学校評価・体罰アンケート】

保護の皆様には、師走でお忙しい中に、アンケートにお答えいただき誠に有り難うございました。頂いたご意見等は、今後の学校運営に、確実に反映させていただこうと思っています。

なお、学校評価の結果については、年明けに改めて報告させていただきます。今後ともご支援ご協力のほど宜しくお願いいたします。

皆様、良いお年を！

師走に入り、冷たい風が身に染みる季節。曜日を決めて朝の立ち番をさせていただいていますが、陽の光がこんなにも有り難いと感じる時期はありません。太陽が与えてくれる温かさ感謝する気持ちが湧いてきます。

中村雅俊の歌「ふれあい」という名曲のさびの部分はこちらです。「…何気ない心のふれあいが幸せを連れてく～る～。人は皆、一人では、生きてゆけないものだから～」。人の心にこそ温かいぬくもりが必要ですね。何と云っても一番は、家族の無償の愛でしょうか。

「明るさと強さのDNAをありがとう。また親子になりたいです。」親の死に臨み、ある方が残された手記。素敵な親子関係があったからこそその究極の言葉。こんな素敵な親子になりたいものですね。

では、皆様、良いお年をお迎え下さい！

